第１１回企業説明会

2015年6月12日

中京銀行

A member of MUFG

目次

中京銀行

Ⅰ　東海地区の景気

◇　東海地区の景気（1）　・・・ 3
◇　東海地区の景気（2）　・・・ 4
◇　東海地区の景気（3）　・・・ 5

Ⅱ　決算の概要

◇　14年度決算の概要（P／L）　・・・ 7
◇　コア業務純益の前年比増減要因　・・・ 8
◇　14年度決算の概要（B／S）　・・・ 9
◇　貸出金　・・・10
◇　有価証券　・・・11
◇　自己資本比率と配当の状況　・・・12
◇　与信管理の徹底　・・・13
◇　リスク管理　・・・14
◇　15年度業績予想　・・・15

Ⅲ　第15次中期経営計画の総括

◇　第15次中期経営計画の総括（計数）　・・・17
◇　第15次中期経営計画の総括（施策）　・・・18
◇　当地域所在の第2地銀各行との比較　・・・19

Ⅳ　第16次中期経営計画

◇　第16次中期経営計画の位置づけ　・・・21
◇　第16次中期経営計画の概要　・・・22
◇　第16次中期経営計画の基本戦略　・・・23
◇　第16次中期経営計画の計数目標　・・・24
◇　第16次中期経営計画の主要計数　・・・25

Ⅴ　その他トピックス

◇　ガバナンスの強化（任意の委員会の設置）　・・・27
◇　インターネット支店の開設　・・・28
◇　TVコマーシャルのリニューアル　・・・29

ご参考資料

当行の沿革・プロフィール　・・・31
当行の収益実績　・・・32
主要勘定残高および利回り　・・・33
資産・負債残高の推移　・・・34
貸出金／預金の状況　・・・35
有価証券の状況　・・・36
役務収益の状況　・・・37
当地区における当行のシェア　・・・38

Ⅰ．東海地区の景気

◇ 東海地区の景気（1）

中京銀行

□ 14年度の東海地区経済は、緩やかながらも着実に回復。
□ 景気動向指数は全国平均を上回っており、輸出も着実に持ち直している。

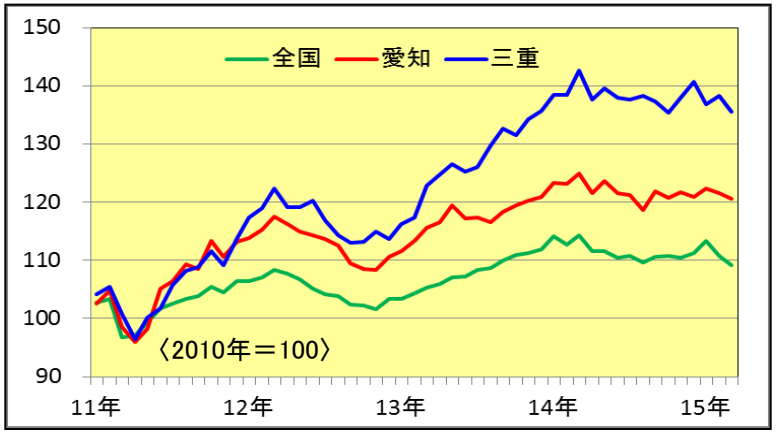
【東海3県の金融経済動向】（日本銀行名古屋支店）

公表月		景気全体
14 4	↓	足もと消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動もみられているが、基調としては回復を続けている
5	→	
6	→	
7	→	
8	↑	基調としては回復を続けており、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響も徐々に和らぎつつある
9	→	
10	↑	基調としては回復を続けており、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響も幾分幾分ばらつきを伴いつつ全体として和らいできている。
11	↑	基調としては回復を続けており、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響も全体として和らいでいる。
12	→	
15 1	→	
2	↑	回復を続けている。
3	↑	着実に回復を続けている。
4	→	
5	→	

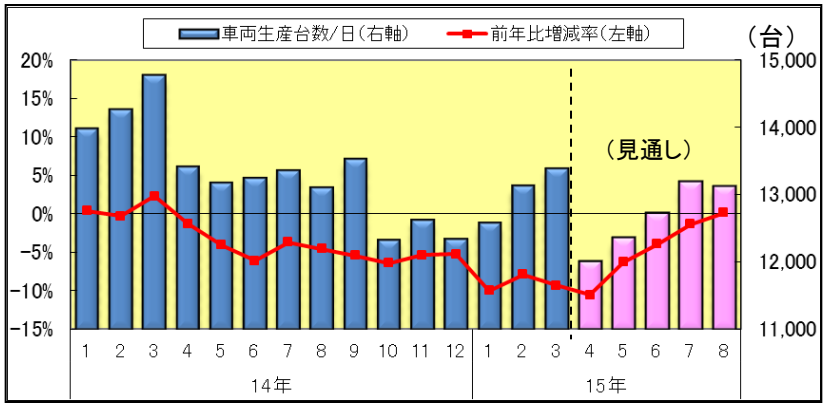
【名古屋税関輸出額推移（前年比増減率）】（名古屋税関管内貿易統計）

（%）	全国総額	名古屋総額	鉄鋼	自動車	自動車部品	工作機械	電気機器
14 4	5	4	2	7	1	18	▲ 1
5	▲ 2	▲ 5	0	▲ 9	▲ 7	15	▲ 6
6	▲ 1	▲ 4	3	▲ 8	▲ 0	23	▲ 9
7	3	9	▲ 6	13	4	32	▲ 0
8	▲ 1	▲ 3	3	▲ 3	▲ 9	24	▲ 12
9	6	6	14	13	0	34	▲ 7
10	9	5	2	3	0	16	▲ 1
11	4	0	7	6	▲ 5	3	▲ 3
12	12	11	4	18	4	▲ 2	1
15 1	17	9	23	8	4	8	10
2	2	0	6	2	0	▲ 3	1
3	8	11	7	22	6	24	6
4	8	3	▲ 4	0	▲ 0	24	5

【景気動向指数（一致）】（内閣府・各都道府県「景気動向指数」）



【トヨタ自動車（単体）／日当たり国内生産台数・前年比増減率推移】



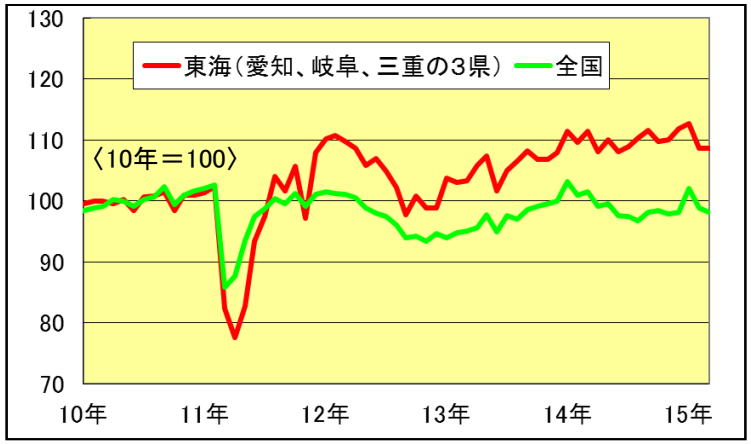
（車両販売実績：日本自動車工業会「自動車統計月報」、計画数値・稼働日：中部経済新聞社）

◇ 東海地区の景気（2）

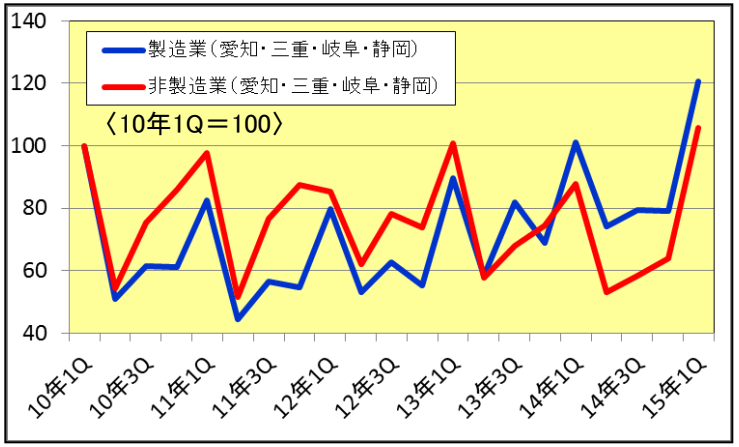
中京銀行

□ 鉱工業生産指数は緩やかに回復。企業収益は、特に製造業で大きく増加。
□ 設備投資や個人消費は、底堅く推移しているが、足許では増加の動き。

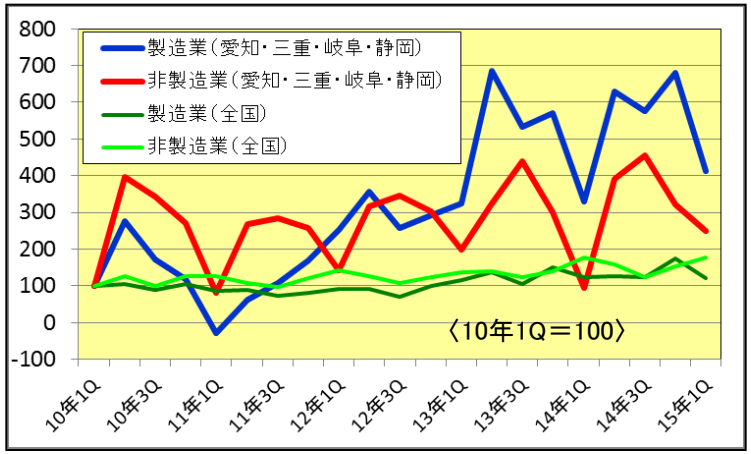
【鉱工業生産指数（季節調整値）】（経済産業省、中部経済産業局）



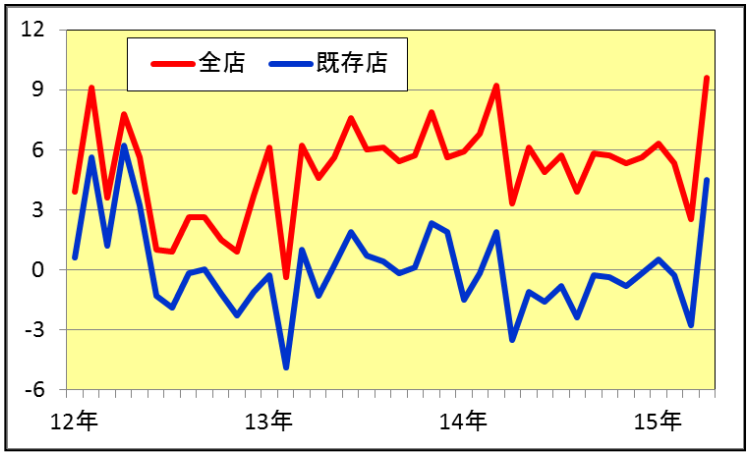
【設備投資（ソフトウェア含む）**】**（東海財務局「法人企業統計調査」）



【企業収益（経常利益）】（財務省・東海財務局「法人企業統計調査」）



【コンビニエンスストア売上高（前年比増減率）**】**（中部経済産業局）



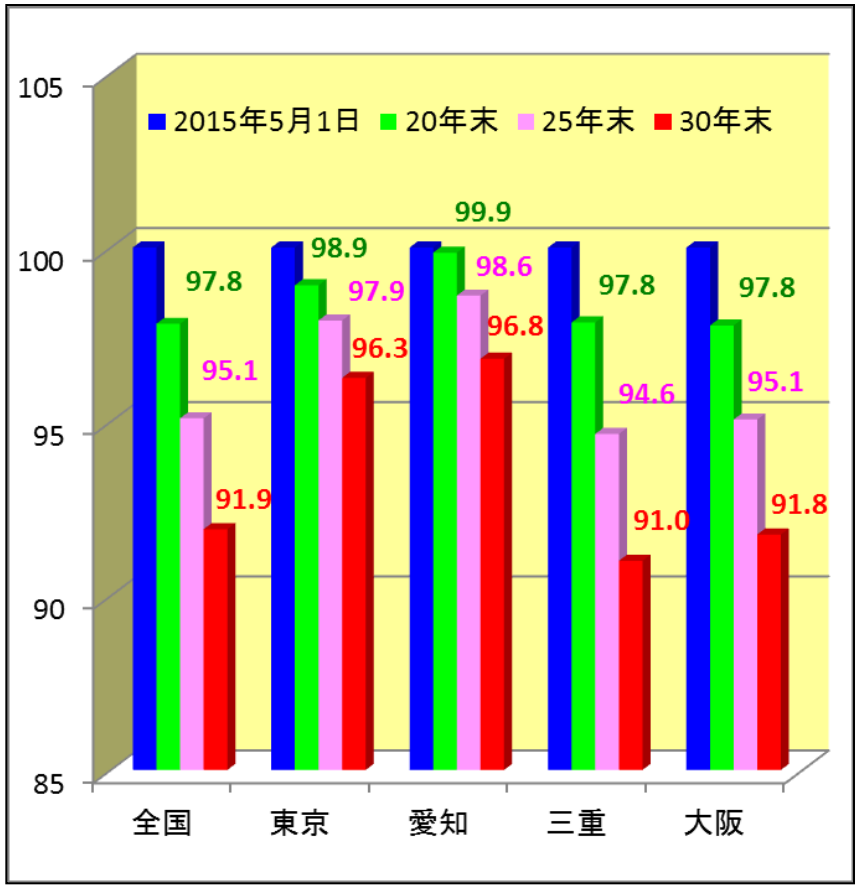
（愛知・三重・岐阜・富山・石川の5県）

◇ 東海地区の景気（3）

中京銀行

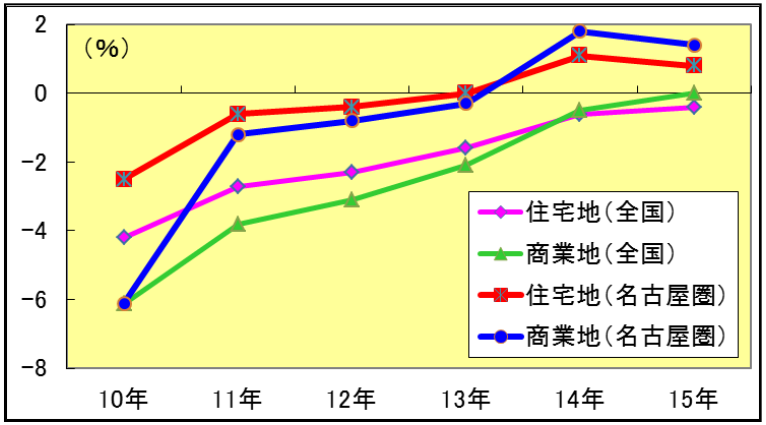
□ 5年後・10年後の愛知県の人口は減少局面に入るが、その幅は相対的に小さい。
□ 地価や有効求人倍率も全国平均比優位にあり、今後もその傾向は持続する見通し。

【人口動態推計】 15年5月1日の各人口を100とした場合の比率

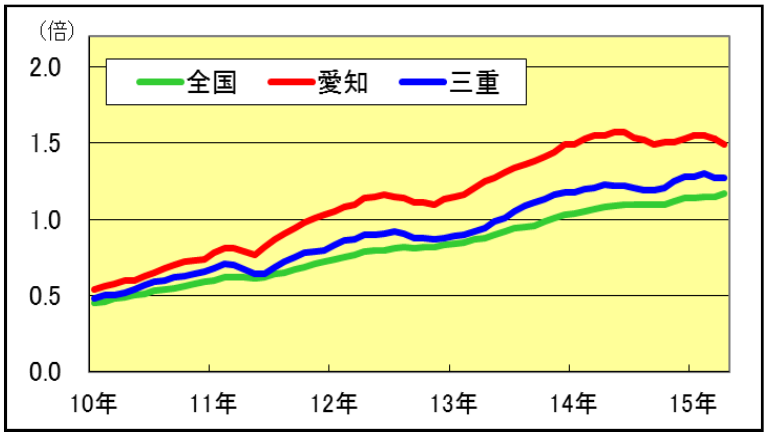


※15年5月1日の人口は、総務省および各都府県庁の公表計数を、20年末以降の人口は国立社会保障・人口問題研究所の試算計数を使用

【地価変動率】（国土交通省）



【有効求人倍率】（厚生労働省、愛知・三重労働局）



Ⅱ. 決算の概要

◇　14年度決算の概要（P／L）

中京銀行

コア業務純益　59億円
（前年比＋2億円、年率＋4．9%）

貸出金利回り低下による資金利益の減少を、役務取引等利益の増加でカバーし、前年比＋2億円の増益。

信用コスト　2億円
（前年比▲14億円、年率▲86．7%）

不良債権処理額の減少等により、前年比14億円の減少。

（*）一般貸倒引当金戻入額と個別貸倒引当金繰入額の合計額が戻入れ（0.5百万円）となったため、会計上、臨時収益の貸倒引当金戻入益として計上。

コアOHR　75．8%
（前年比0．9ポイント改善）

コア業務粗利益の増加および経費の削減効果により、前年比0．9ポイントの改善。

《単体P／L》　（億円、%）

		14年度	前年比	13年度
1	コア業務粗利益	245	1	243
2	うち資金利益	213	▲ 4	218
3	うち役務取引等利益	31	7	24
4	経費（▲）	186	▲0	187
5	コア業務純益	59	2	56
6	信用コスト（▲）	2	▲ 14	16
7	一般貸倒引当金繰入額	（*）　-	7	▲ 7
8	不良債権処理額	2	▲ 22	24
9	有価証券関係損益	▲ 3	▲ 12	9
10	債券	▲ 6	▲ 5	▲ 1
11	株式	2	▲ 7	10
12	経常利益	51	6	45
13	特別損益	▲ 4	0	▲ 4
14	法人税等（▲）	19	5	13
15	当期純利益	28	1	26
16	コアOHR（経費/コア業粗）	75.8	▲ 0.9	76.7

前年比は百万円単位で算出し、億円単位で表示

◇ コア業務純益の前年比増減要因

中京銀行

《単体P／L》 （億円）

		14年度	前年比
1	コア業務粗利益	245	1
2	うち　資金利益	213	▲ 4
3	うち　貸出金利息	162	▲ 11
4	うち　預金利息（▲）	14	▲ 3
5	うち　有価証券利息	71	7
6	うち　役務取引等利益	31	7
7	うち　投信販売手数料	7	1
8	うち　保険販売手数料	11	5
9	経費（▲）	186	▲0
10	人件費	102	▲ 2
11	物件費	74	▲0
12	税金	9	1
13	コア業務純益	59	2

【前年比増減要因】

残高	利回り
5	▲ 16
0	▲ 3
1	6

【残高（平残）・利回り】 （億円／%）

14	貸出金	平残	11,983	323
15		利回り	1.35	▲ 0.14
16	預金	平残	16,641	392
17		利回り	0.08	▲ 0.03
18	有価証券	平残	5,243	79
19		利回り	1.36	0.12

資金利益　前年比▲4億円

貸出金の利回り低下により、
貸出金利息が▲11億円。

役務利益　前年比+7億円
（年率＋29．1%）

【資産運用商品】 （億円）

	投信	保険
販売額	321 （+25）	203 （+87）
販売手数料	7.8 （+1.5）	11.0 （+5.9）

（　）は前年比

経費　前年比▲0億円
（年率▲0．4%）

新システム導入による業務
効率化により、人件費は減少。
税金は消費税等が微増。

◇ 14年度決算の概要（B／S）

中京銀行

貸出金　前年比　＋363億円
（年率＋2．9%）

法人・個人とも増加（詳細は次葉）。

預金　前年比　＋576億円
（年率＋3．4%）

愛知県を中心に、法人・個人とも増加。

有価証券　前年比　＋382億円

市況回復に対応し、投資信託等の残高を積み増し。含み益の増加も貢献。

自己資本比率　9．97%

貸出金の増加、及び劣後債100億円の償還により、前年比1．09ポイント低下。

《単体B／S》

（億円、%）

		15年3月末	前年比	14年3月末
1	貸出金	12,608	363	12,244
2	うち　事業性貸出	8,895	270	8,625
3	うち　住宅ローン	3,598	95	3,502
4	預金	17,171	576	16,594
5	うち　個人預金	11,799	59	11,739
6	有価証券	5,664	382	5,281
7	うち　含み損益	408	186	221
8	金融再生法開示債権	521	▲ 62	583
9	不良債権比率	4.08	▲ 0.62	4.70

前年比は百万円単位で算出し億円単位で表示

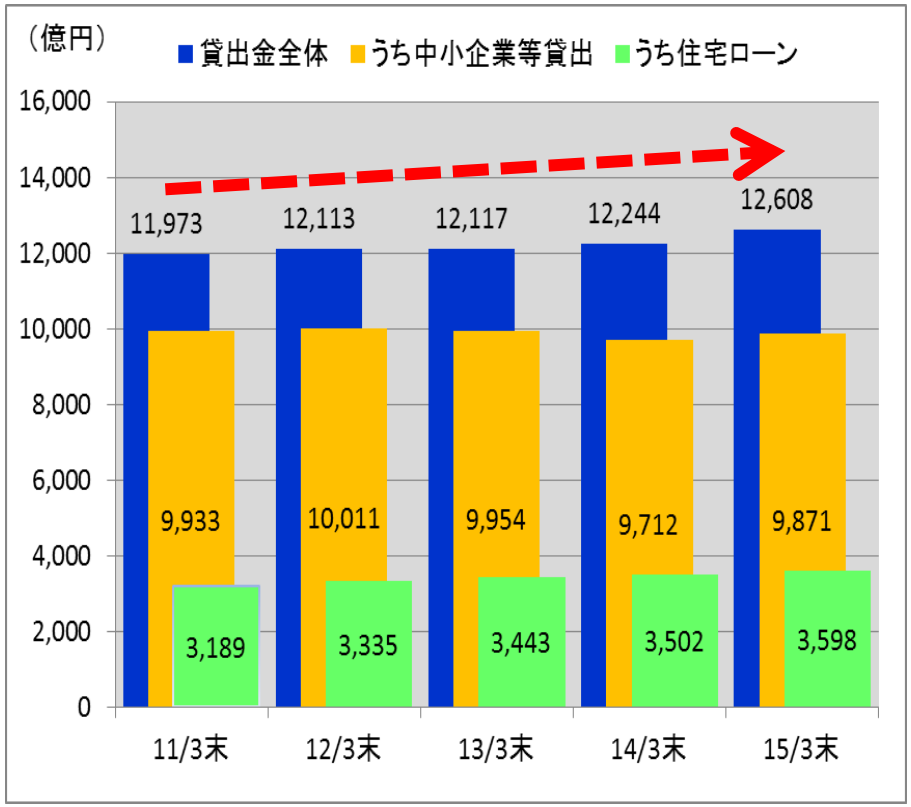
10	自己資本比率	9.97	▲ 1.09	11.06
11	リスクアセット	9,968	444	9,523
	格付（日本格付研究所）	A／安定的		

◇ 貸出金

中京銀行

□ 貸出金全体では前年比＋363億円の増加。
□ 地域では愛知県を中心に、業種別では製造業や個人（住宅ローン）で残高を積上げ。

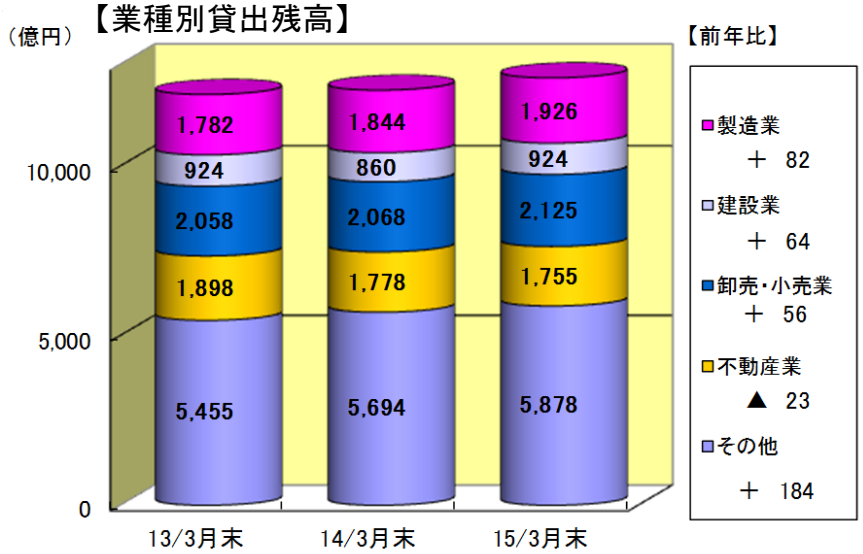
貸出金残高推移（期末残高）



【地域別貸出残高】

（億円）	13/3末	14/3末	15/3末	前年比
愛知県	9,214	9,231	9,488	257
三重県	1,621	1,511	1,482	▲ 28
その他	1,282	1,502	1,638	134
合計	12,117	12,244	12,608	363

【業種別貸出残高】

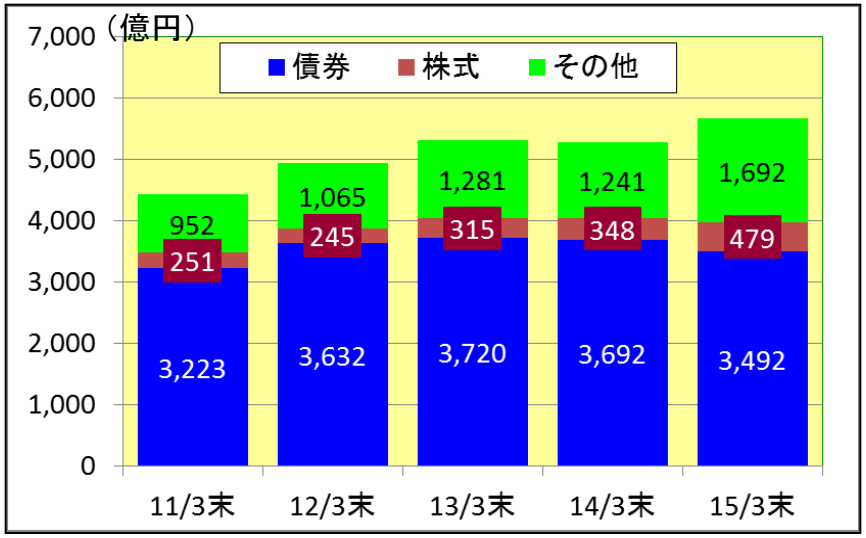


◇ 有価証券

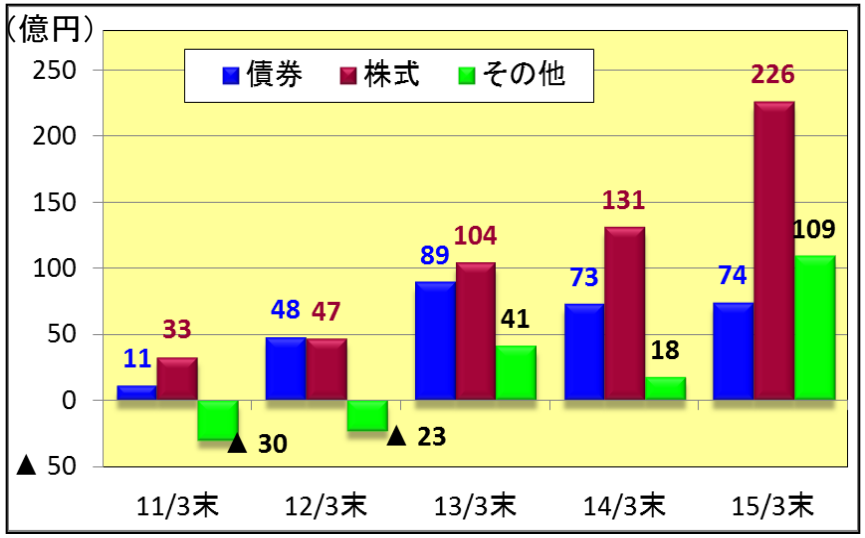
中京銀行

□ 国債を圧縮し、J-REITや投資信託等を増加。結果、有価証券残高は前年比＋383億円。
□ デュレーションは前年比0．3年短期化、運用利回りは前年比 0．12ポイント上昇。

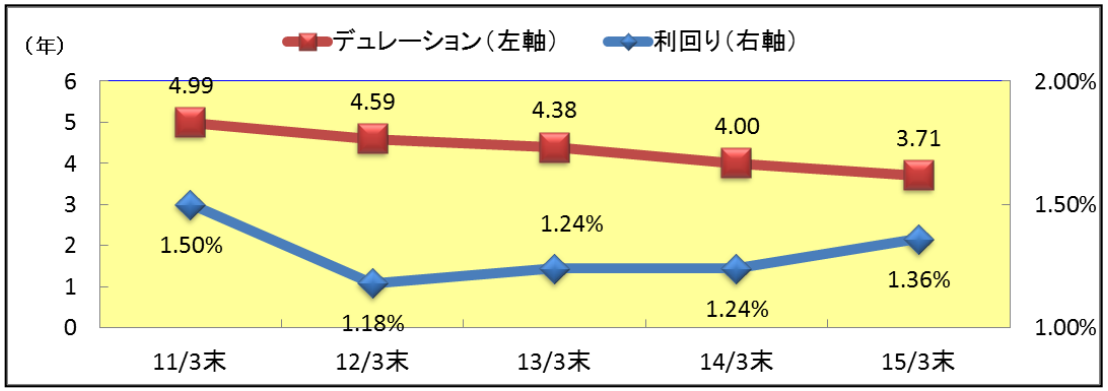
【有価証券の残高構成】



【有価証券の評価損益】



【有価証券運用利回り、デュレーション（*）の推移】



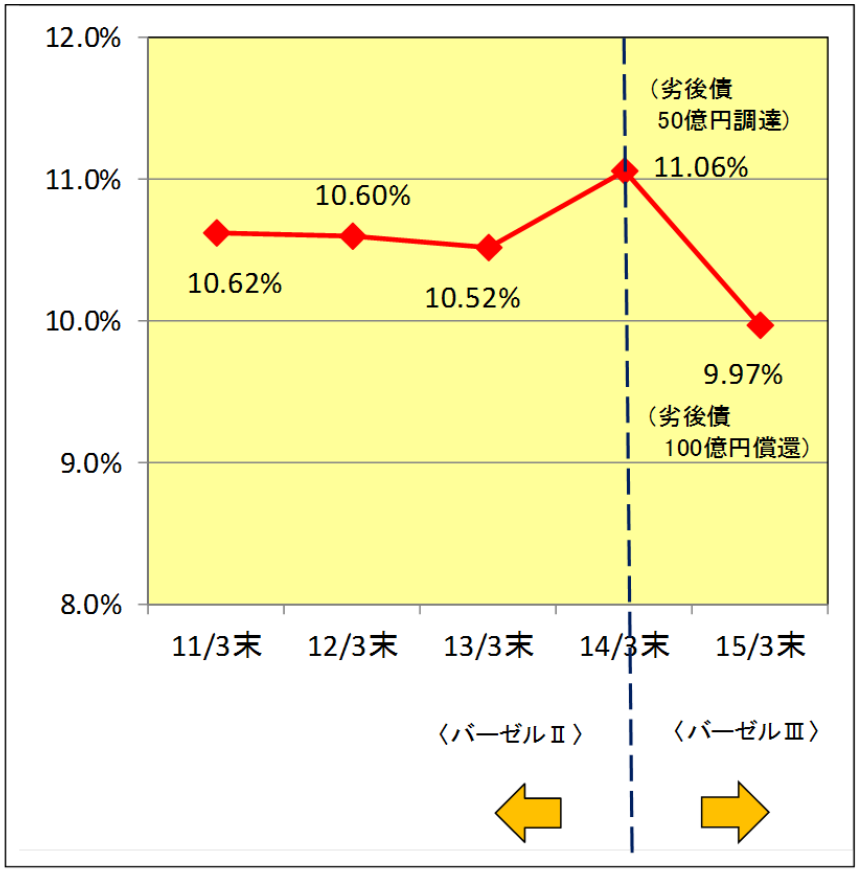
（*）デュレーションは国内債・外債合算の数値

◇ 自己資本比率と配当の状況

中京銀行

□ 15年3月末の自己資本比率（単体）は9．97%であり、質・量ともに健全な水準を維持。
□ 同比率が低下した主因は、劣後債の償還（100億円）と貸出金（リスク・アセット）の増加。

【自己資本比率の推移（単体）】



【自己資本比率の状況（単体）】 （百万円、%）

	15/3末（速報値）		14/3末
		14/3末比	
(1) 自己資本比率 (2)/(3)	9.97	▲1.09	11.06
(2) 自己資本の額	99,446	▲ 5,947	105,393
(3) リスク・アセットの額	996,822	44,442	952,380

【配当の基本方針】

健全経営の観点から、内部留保の充実に留意しつつ、株主の皆さまに対し、安定的・継続的な配当を維持していく。

【配当の状況】

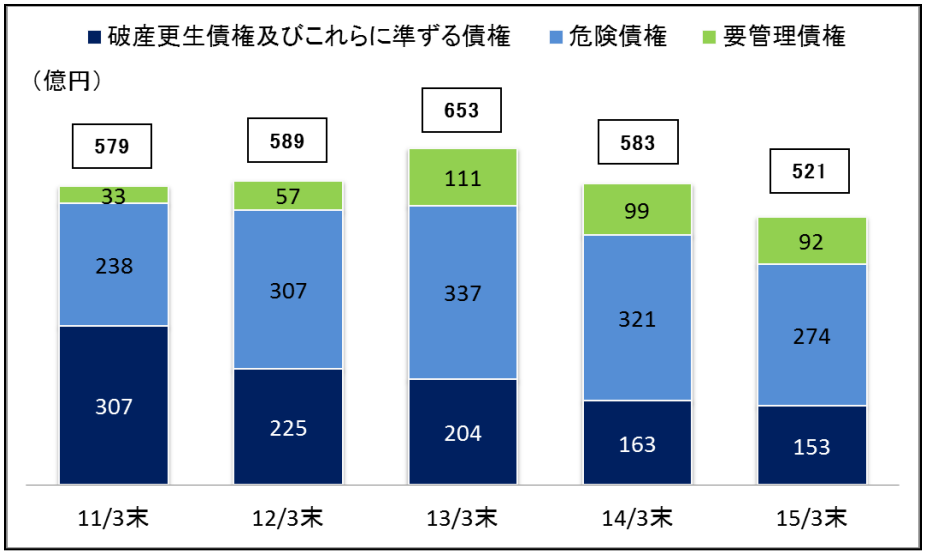
	11/3末	12/3末	13/3末	14/3末	15/3末	16/3末（予想）
配当金	4円	4円	4円	4円50銭	4円50銭	4円
配当性向（連結）	112.3%	46.0%	71.9%	32.7%	31.6%	33.0%

◇ 与信管理の徹底

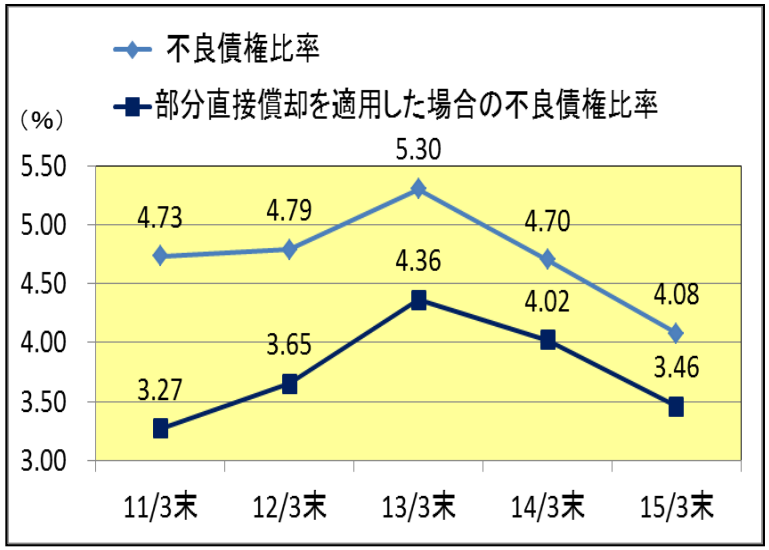
中京銀行

□ 不良債権額は大幅に減少。同比率も4．08%まで低下。
□ 引続き、個社別管理を徹底し、不良債権の削減に注力していく。

【金融再生法開示債権の状況】



【不良債権比率】



【信用コストの状況】

（億円）

	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3	前年比
個別貸倒引当金繰入額	44	33	30	21	7	▲ 14
一般貸倒引当金繰入額	6	▲ 19	▲ 2	▲ 7	▲ 7	0
偶発損失引当金等	4	4	4	3	2	▲ 1
信用コスト計	55	18	31	16	2	▲ 14

※損益計算書上は、一般貸倒引当金繰入額は“－”として表示。（P7ご参照）

【保全率】

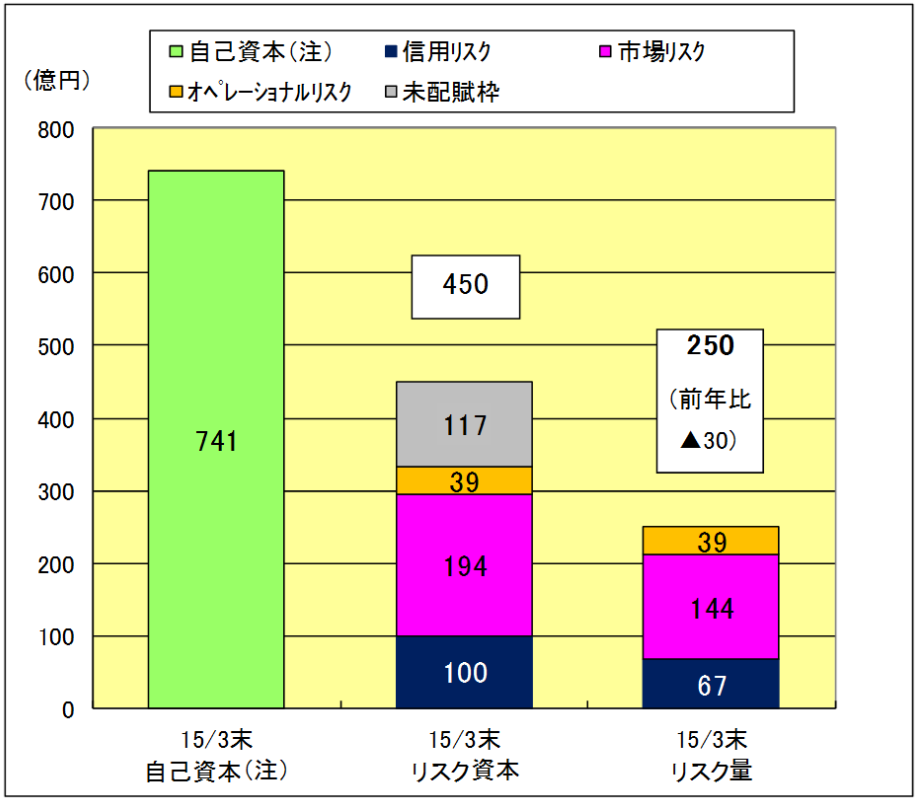
	15/3末	前年比
保全率 （%）	82.14	▲ 2.57
要管理債権	43.41	▲ 7.40
危険債権	85.23	▲ 2.21
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	100.00	0.00

◇ リスク管理

中京銀行

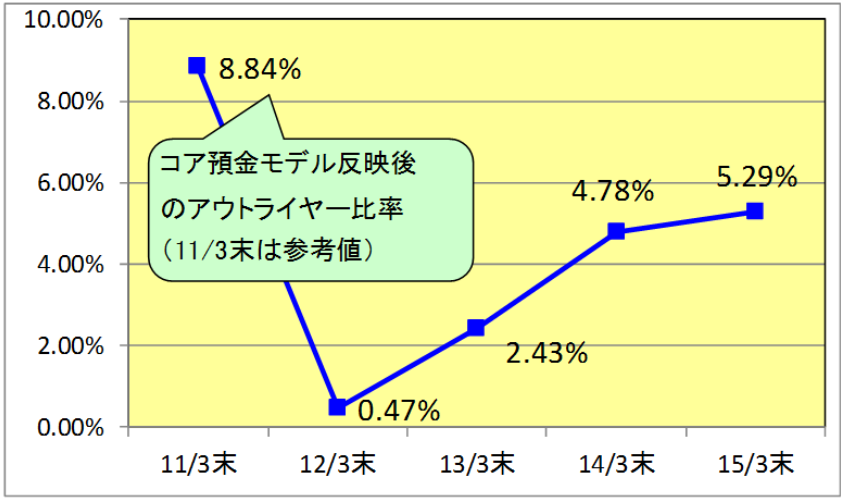
□ 15年3月末のリスク量は、リスク資本の範囲内。前年比では30億円減少。
□ アウトライヤー比率も5．29%と、引続き問題ない水準を維持。

【リスク資本の使用状況】



(注)経過措置を考慮せず、完全適用した場合のコア資本

【アウトライヤー比率推移】



【リスク量の計算方法】

		計測手法	信頼区間	保有期間
信用リスク		VaR	99%	1年間
市場リスク	投資有価証券・預貸取引	VaR	99%	6ヶ月間
	政策投資株式※	VaR	99%	6ヶ月間
オペレーショナルリスク		基礎的手法		

※政策投資株式は評価損益考慮後

◇ 15年度業績予想

中京銀行

□ コア業務純益は、資金利益の落ち込みや経費の増加等により、55億円の計画。
□ 当期純利益は、有価証券損益や与信費用を保守的にみて、前年比4億円の減少を見込む。

（億円、%）

		14年度	15年度予想	前年比
1	コア業務粗利益	245	246	1
2	うち資金利益	213	210	▲ 3
3	うち役務取引等利益	31	37	6
4	経費	186	191	5
5	うち人件費	102	101	▲ 1
6	うち物件費	74	79	5
7	コア業務純益	59	55	▲ 4
8	有価証券関係損益	▲ 3	0	3
9	信用コスト	2	9	7
10	経常利益	51	41	▲ 10
11	当期純利益	28	24	▲ 4

12	貸出金	平残	11,983	12,176	193
13		利回り	1.35	1.30	▲ 0.05
14	預金	平残	16,641	16,969	328
15		利回り	0.08	0.08	0.00
16	有価証券	平残	5,243	5,392	149
17		利回り	1.36	1.31	▲ 0.05

15年度業績予想のポイント

資金利益　前年比　▲3億円

・貸出金の更なる利回り低下により、貸出金利息▲3億円

役務利益　前年比　＋6億円

・資産運用商品の販売員の増員
・新商品の継続投入
・NISA対応強化

経費　前年比　＋5億円

・制服の導入費用
・営業店の業務運営を効率化するためのシステム投資
・外形標準課税の増加　など

Ⅲ. 第１５次中期経営計画の総括
（2012年4月~2015年3月）

◇ 第15次中期経営計画の総括（計数）

中京銀行

□ コア業務純益、経常利益、当期利益において計画を達成。

□ 中計開始直前（11年度）との比較では、損益・業容とも大きく進展。

【損益推移と中計との比較】

（億円、社）

	11年度実績	第15次中計期間			中計実績累計		中計予算累計
		12年度実績	13年度実績	14年度実績		計画比	
コア業務粗利益	250	245	243	245	735	▲ 15	750
コア業務純益	46	52	56	59	168	6	161
経常利益	20	13	45	51	110	23	87
当期利益	15	9	26	28	64	13	50

【業容と中計との比較】

		11年度実績	中計予算	14年度実績	計画比	11年度比
貸出金（平残）		11,687	11,944	11,983	39	296
有価証券（平残）		4,659	5,257	5,243	▲ 14	584
預金（平残）		15,732	16,640	16,641	1	909
融資事業先（期末社数）		12,850	13,700	13,765	65	915
事業性融資（平残）		8,020	8,350	8,355	5	335
住宅ローン（平残）		3,235	3,534	3,502	▲ 32	267
資産運用商品販売額	投信	191	245	321	76	130
	保険	74	135	203	68	128

◇ 第15次中期経営計画の総括（施策）

中京銀行

□ CSは相応に進展するも途上。第16次中計にて、更なる向上を図る。

□ 資産運用商品の販売、および業務効率改善に伴う経費削減は大きな成果。

1. お客さま満足度の向上

〈目指した姿〉
- お客さまに選ばれ、金融機関同士の競争に勝ち抜くため、お客さま満足度の向上に 努める。

〈主な成果〉
- 「CS向上委員会」設置、「CS地区別会議」開催「CSアワード」導入、「CS推進責任者」任命
- 「エコ定期預金」「あいちCO2削減ﾏﾆｭﾌｪｽﾄ2020」
- 「福祉応援定期」

2. 営業力の強化

〈目指した姿〉
- 融資事業先数の増加、事業性融資、住宅ローン等の貸出基盤の増強に注力する。
- コンサルティング等情報開発機能の向上による提案型営業への転換を図る。

〈主な成果〉
- 貸出基盤関連計数は概ね達成（前頁）
- 地域密着型金融推進室を新設。名古屋市内は名古屋営業本部を中核に、営業力を強化
- 資産運用商品の販売にリソースを集中投下

3. 業務効率の改善

〈目指した姿〉
- 経営資源の効率性の観点から店舗政策を見直す。
- 営業店業務の効率化による営業体力の捻出や、内部人員の効率化も進める。

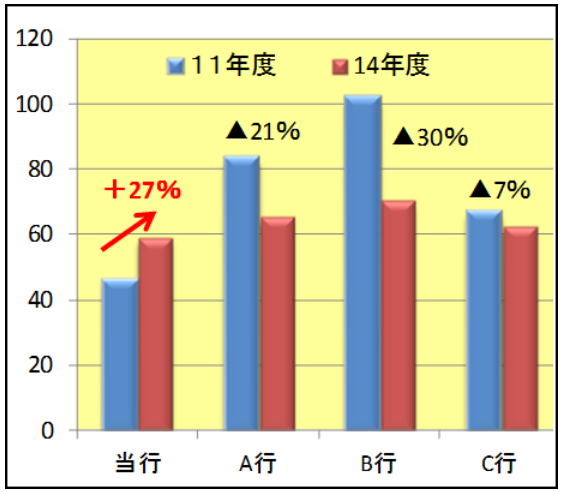
〈主な成果〉
- サテライト支店（個人営業特化型店舗）への移行（12ヶ店）を軸に、店舗網を再構築
- 店舗の統合：3ヶ店、新築移転：2ヶ店
- 物件費削減PTの稼働、ｺｽﾄﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ室の設置

◇ 当地域所在の第2地銀各行との比較

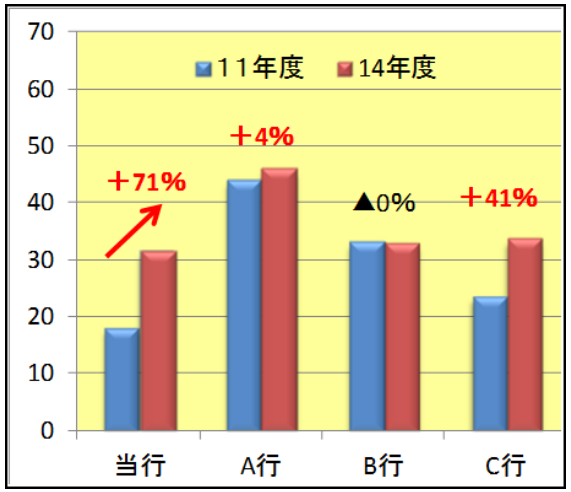
中京銀行

□ 第15次中計期間中のコア業務純益・役務収益の増加率、および経費削減率で他行を圧倒。
□ 貸出金や預金残高の増加率は、他行比遜色ない水準。

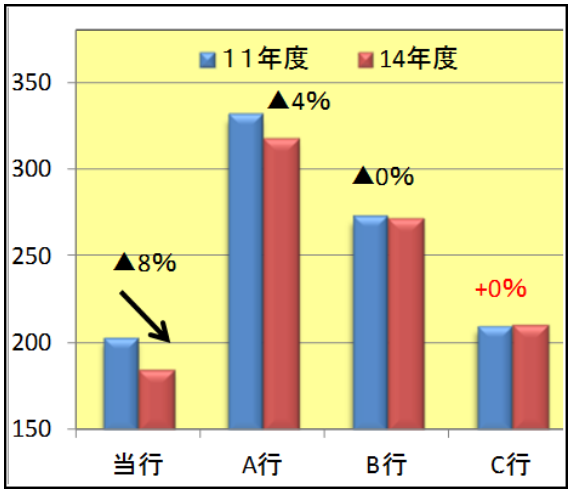
【コア業務純益（億円）】



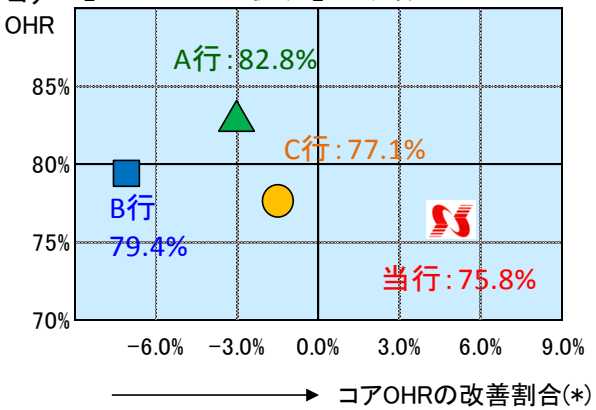
【役務収益（億円）】



【経費（億円）】

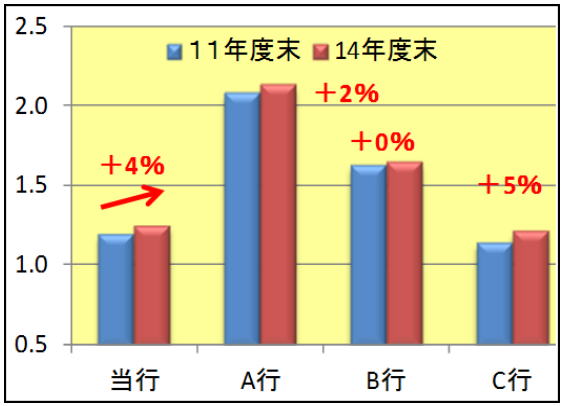


【コアOHRの状況】（当行算出ベース）

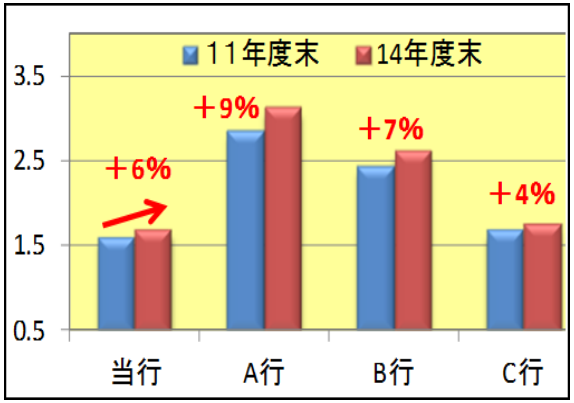


(*)11年度のコアOHR−14年度のコアOHR

【貸出金残高（兆円）】



【預金残高（兆円）】



Ⅳ. 第１６次中期経営計画
（2015年4月~2018年3月）

◇ 第16次中期経営計画の位置づけ

中京銀行

□ 今後10年間の内外環境分析を行い、5年後、10年後の経営ビジョンを策定。

□ 第16次中計は、5年後、10年後の経営ビジョン達成に向けた重要なステップの位置づけ。

今後10年間の環境面の課題
～ 愛知県（名古屋市）への一極集中による競争激化 ～

1. 地域経済の縮小は不可避
   （少子高齢化、企業・事業所数の減少）
2. 競争の激化（金融機関同士のパイの奪い合い）
3. 収益環境の悪化
   （預貸利鞘の低下、預貸ボリュームのピークアウト）

10年後の経営ビジョン

「いちばんに相談したい銀行」の実現

コア業務粗利益 ： 260億円
コア業務純益 ： 80億円
貸出（平残） ： 12,400億円
預金（平残） ： 17,400億円
自己資本比率 ： 9%以上
株主資本ROE ： 5%以上

第15次中計
（2012年4月～2015年3月）

5年後（2018年度）の経営ビジョン

第16次中計（2015年4月～2018年3月）

第16次中計最終年度（2017年度）で、
5年後の経営ビジョン達成にチャレンジ

◇ 第16次中期経営計画の概要

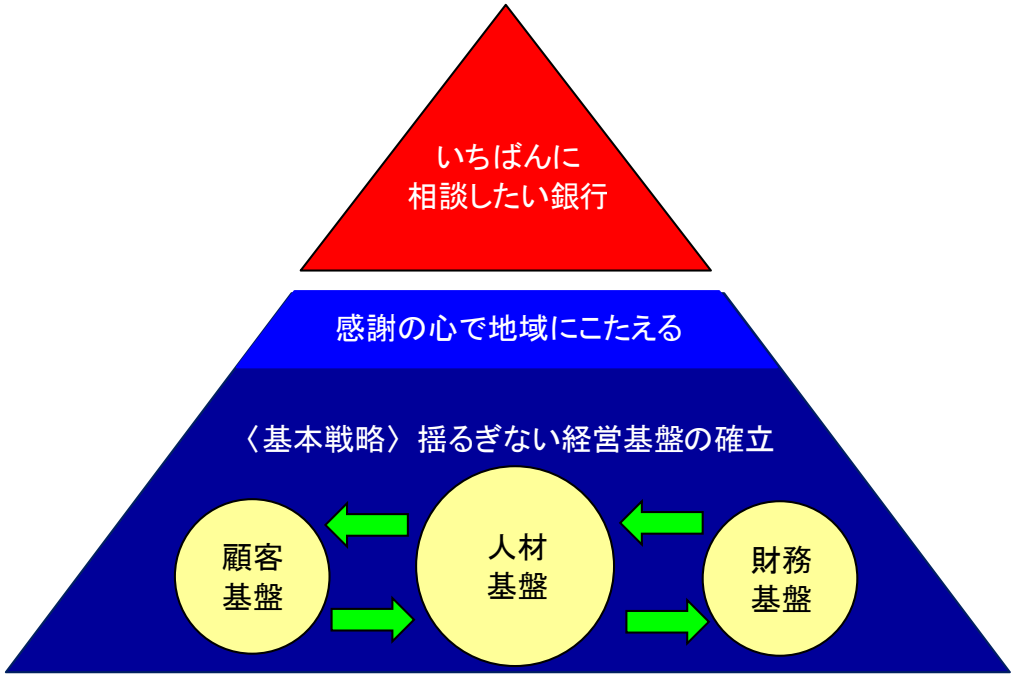
中京銀行

□ 「感謝の心で地域にこたえる」をテーマに、「いちばんに相談したい銀行」へ。

□ 揺るぎない経営基盤の確立のため、人材・顧客・財務の3つの基盤を強化。

【第16次中期経営計画の概念図】

経営の基本コンセプト	
第16次中計	テーマ
	戦略



人材基盤	人材育成と女性の活躍推進
顧客基盤	地域経済への貢献に向けた営業力強化
財務基盤	経営効率の改善による体質強化

◇ 第16次中期経営計画の基本戦略

中京銀行

1. 人材基盤

(1)人材育成

・施策別、本部・営業店毎の人材育成計画の策定
・支店長主導によるOJT強化、役員による支店長教育
・職場コミュニケーションの向上、人事評価の改善

(2)女性の活躍推進

・女性活躍推進プロジェクトの立上げ
・女性役務者比率の向上、本部への積極登用
・キャリアモデルの明確化

3. 財務基盤

(1)有価証券運用

・ 市場環境を踏まえたリスクテイクと適切なリスク管理

(2)信用コスト

・目利き力向上、小口分散化、適時適切な資産査定

(3)経費

・人員配置の最適化(営業人員増員)、営業施策への投資

(4)業務の効率化

・営業店事務・融資事務の効率化、店舗戦略の見直し

2. 顧客基盤

(1)好感度向上(CS)

・「感謝」を起点としたCS向上活動を展開
・CS推進室の設置、CS専担者の育成

(2)相談力の向上

・目利き力、コンサル能力、情報収集・提供機能の強化

(3)営業体制 ～営業活動の量と質の改善～

①法人営業:活動量の増加、情報収集体制の定着
②個人営業:担い手の増員、パーヘッド収益増強

(4)営業基盤 ～新規獲得強化～

①法人基盤:渉外全員新規体制、キャラバン隊への移行
②個人基盤:若年／高齢層顧客の拡大、職域活動見直し

(5)預金戦略 ～法人預金と個人定期性預金の増強～

①法人預金:資金トレースの徹底、純預金先との取引拡充
②個人預金:インターネット支店の活用、高齢者預金増強

(6)貸出戦略 ～ポートフォリオ改善による収益の確保～

①中小企業貸出:新商品の開発、推進体制の整備
②住宅ローン:ローンアドバイザーの増員
③消費者ローン:カードローン増強

(7)役務収益戦略 ～預かり資産の増強・維持～

・資産運用商品のセグメント別推進、法人取引先への拡大
・外為営業体制・手法の見直し

◇ 第16次中期経営計画の計数目標

中京銀行

□ 基本戦略にある各種施策の実践により、2017年度計数目標の必達を図る。

□ 女性の管理職比率は、既に女性活躍推進プロジェクトを立上げ推進中。

	2015年3月末実績	2017年度目標
女性管理職の比率	8 %	15 % (*3)
投資信託残高	925 億円	1,000 億円 (*4)
融資事業先数	13,765 社	15,500 社 (*3)
貸出金残高	11,984 億円 (*2)	12,250 億円 (*5)
中小企業向け融資残高	6,654 億円 (*1)	7,000 億円 (*4)
一般住宅ローン残高	2,788 億円	2,900 億円 (*4)
預金残高	16,654 億円 (*2)	17,350 億円 (*5)
有価証券残高	5,244 億円 (*2)	5,600 億円 (*5)

(*1) 2014年度下期 期中平残
(*2) 2014年度 期中平残

(*3) 2018年 3月末
(*4) 2017年度下期 期中平残
(*5) 2017年度 期中平残

◇ 第16次中期経営計画の主要計数

中京銀行

□ 業務粗利益は、顧客基盤・業容の拡大により同水準を確保。

□ コア業務純益は、資金利益の減少や戦略的な経費の活用により減少する計画。

【第16次中期経営計画】

（単位：億円）

	14年度実績	第16次中計			
		15年度計画	16年度計画	17年度計画	14年度比
業務粗利益	239	246	242	242	+3
コア業務粗利益	245	246	242	242	▲ 3
資金利益	213	210	205	204	▲ 9
役務取引等損益	31	37	35	37	+6
経費	186	191	191	195	+9
コア業務純益	59	55	50	47	▲ 12
業務純益	53	56	52	48	▲ 5
経常利益	51	41	41	35	▲ 16
当期利益	28	24	25	21	▲ 7

Ⅴ．その他トピックス

◇ ガバナンスの強化（任意の委員会の設置）

中京銀行

□ 取締役会機能の補完、および審議の客観性向上の観点から、人事／報酬委員会を新設。

□ 両委員会とも委員長には社外取締役を選任し、委員の過半数は社外取締役で構成。

委員会名	審議事項
人事委員会	・株主総会に提出する取締役の選任および解任に関する事項 ・取締役会に提出する代表取締役および役付取締役の選定および解職に関する事項 ・その他取締役の人事に関する重要事項
報酬委員会	・取締役および執行役員の報酬等に関する事項

◇ インターネット支店の開設

中京銀行

□ インターネット上の店舗として、「なごやめし支店」を2月に開設。

□ 顧客利便性の向上、および店頭比高金利の定期預金による全国からの預金吸収を図る。

支店名	なごやめし支店
開設日	2015年2月16日
対象	個人のお客さま
取扱商品	大盛なごやめし定期預金、なごやめし定期預金 宝くじ付定期預金、普通預金
取扱業務	預金取引、資金移動、照会

〈支店名やキャラクターについて〉
愛知県や名古屋市をイメージさせ、親しみやすく、インパクトのある名称として、「なごやめし支店」と名付け、支店に所属する行員も、なごやめしを連想させるキャラクターとしました。

◇ TVコマーシャルのリニューアル

中京銀行

□ 当行の知名度アップおよびブランド価値向上を企図し、テレビコマーシャルをリニューアル。
□ 新コマーシャルでは、「地域の皆さまの様々なご要望に、真摯に耳を傾ける銀行であり続けたい」という思いを、二人のキャラクターに込めて制作。

【キャラクター概要】

【コータくん】
まっすぐな性格で人のために一生懸命。行員のポケットにコータくんが隠れているかもしれません。

【エールちゃん】
ポンポンを手に人のために応援することが大好き。窓口のおねえさんの隣がお気に入りの場所。

ご参考資料

当行の沿革・プロフィール

中京銀行

沿　革

1943：　三重県津市に八紘無尽設立
1945：　本店を三重県名張市に移転
1951：　太道無尽を経て太道相互銀行へ商号変更
1964：　本店を名古屋市に移転
1969：　名古屋信用金庫と合併、中京相互銀行へ商号変更。現所在地に本店を移転
1970：　名証1部上場
1989：　普銀転換、中京銀行へ商号変更
　　東証1部上場
2002：　不良債権、有価証券減損の抜本処理を実施
　　UFJ銀行（現三菱東京UFJ銀行）による資本増強、UFJ銀行の持分法適用関連会社に
2011：　新基幹システム稼動
2012：　第15次中期経営計画スタート
2013：　創立70周年
2015：　第16次中期経営計画スタート

プロフィール　（15年3月末）

＜15年3月末の状況＞

□地区別店舗数　（店）

地区	愛知県		三重県	その他	合計
		名古屋市内			
一般店舗	66	38	16	5	87
出張所	3	2	0	0	3
インターネット支店	1	1	－	－	1
計	70	41	16	5	91

□店舗外ATM設置状況　（箇所）

地区	愛知県		三重県	その他	合計
		名古屋市内			
店舗外ATM	37	21	11	2	50

□従業員　（人）

	合計
従業員数	1,247

□預貸ボリューム　（億円）

預金	地区構成		
	愛知県	三重県	その他
17,171	82.8%	13.2%	4.0%

貸出金	地区構成		
	愛知県	三重県	その他
12,608	75.2%	11.7%	13.1%

□大株主の構成　（千株、%）

氏名または名称	所有株式数	比率
株式会社三菱東京UFJ銀行	85,343	39.24%
日本ﾄﾗｽﾃｨ・ｻｰﾋﾞｽ信託銀行(信託口)	10,914	5.01%
日本ﾄﾗｽﾃｨ・ｻｰﾋﾞｽ信託銀行（信託口4）	9,753	4.48%
ミソノサービス株式会社	7,040	3.23%
中京銀行従業員持株会	5,262	2.42%

（比率・・・発行済株式総数に対する所有株式数の割合）

当行の収益実績

中京銀行

（億円、%）

	10年度 実績	11年度 実績	12年度 実績	13年度 実績	14年度 実績
業務粗利益	288	264	249	242	239
コア業務粗利益	262	250	245	243	245
資金利益	240	230	225	218	213
役務取引等損益	19	18	19	24	31
経費	198	203	193	187	186
人件費	112	109	106	104	102
物件費	75	81	78	74	74
コア業務純益	63	46	52	56	59
当期純利益	6	15	9	26	28
総資産（平残）	16,684	17,131	17,465	17,731	18,144
貸出金	11,500	11,687	11,690	11,660	11,983
総負債（平残）	15,880	16,355	16,697	16,952	17,343
預金	15,319	15,732	15,997	16,249	16,641
OHR（経費/業務粗利）	68.6	76.9	77.4	77.1	77.7
コアOHR（経費/ｺｱ業務粗利）	75.6	81.3	78.7	76.7	75.8
連結ROE（当期純利益/純資産）	0.98	2.36	1.35	3.14	2.99
株主資本ROE（当期純利益/株主資本）	0.86	2.28	1.39	3.78	3.86

主要勘定残高および利回り

中京銀行

（平残　億円、収入・支出額　百万円）

	14年度			前年度比		
	平残	利回	収入額	平残	利回	収入額
貸出金	11,983	1.35%	16,240	322	▲0.14%	▲ 1,177
商品有価証券	2	1.46%	4	▲0	0.00%	▲ 1
金銭の信託	---	---	---	---	---	---
有価証券	5,243	1.36%	7,169	79	0.12%	734
国債	2,436	0.58%	1,430	▲ 134	▲0.06%	▲ 238
地方債	448	1.02%	460	7	▲0.07%	▲ 22
社債	675	0.95%	642	▲ 9	▲0.16%	▲ 120
株式	236	3.14%	742	23	▲0.14%	40
外国証券	920	1.87%	1,726	11	0.19%	196
その他	527	4.11%	2,167	183	0.37%	878
コールローン	0	0.12%	0	0	0.00%	0
買入金銭債権	---	---	---	---	---	---
預け金（無利息分を除く）	375	0.09%	36	2	0.00%	0
譲渡性預け金	---	---	---	---	---	---
外国為替	67	1.40%	94	▲ 13	▲0.04%	▲ 23
その他	1	31.70%	31	1	31.70%	▲ 346
運用勘定計	17,674	1.33%	23,576	392	▲0.08%	▲ 813
資金運用勘定計	17,674	1.33%	23,576	392	▲0.08%	▲ 813

	14年度			前年度比		
	平残	利回	支出額	平残	利回	支出額
預金	16,641	0.08%	1,481	392	▲0.03%	▲ 348
円貨	16,513	0.08%	1.423	444	▲0.03%	▲331
外貨	128	0.44%	57	▲ 51	0.04%	▲ 16
譲渡性預金	---	---	---	---	---	---
コールマネー	2	0.09%	0	0	▲0.01%	0
債券貸借取引受入担保金	32	0.09%	3	15	0.00%	2
借用金	94	0.14%	13	▲ 20	0.00%	▲ 3
外国為替	0	12.10%	0	0	9.23%	0
社債	269	1.45%	392	▲ 3	▲0.11%	▲ 35
リース債務	42	2.88%	122	▲ 4	0.03%	▲ 13
その他	0	---	194	0	---	38
調達勘定計	17,084	0.12%	2,208	380	▲0.03%	▲ 358
（うち金銭の信託運用見合額）	---	---	---	---	---	---
資金調達勘定計	17,084	0.12%	2,208	380	▲0.03%	▲ 358

資産・負債残高の推移

中京銀行

（億円）

	11年3月末	12年3月末	13年3月末	14年3月末	15年3月末	前期比
現金・預け金	328	353	299	475	580	105
有価証券	4,425	4,942	5,318	5,281	5,664	382
貸出金	11,973	12,113	12,117	12,244	12,608	363
固定資産／動産不動産	218	214	211	207	214	6
繰延税金資産	75	52	―	―	―	―
貸倒引当金	▲ 302	▲ 252	▲ 225	▲ 179	▲ 161	18
資産の部合計	17,000	17,696	18,012	18,276	19,122	846

	11年3月末	12年3月末	13年3月末	14年3月末	15年3月末	前期比
預金	15,715	16,090	16,426	16,594	17,171	576
借用金	38	72	109	106	138	31
コールマネー	―	180	―	―	150	150
社債	250	250	250	300	200	▲ 100
繰延税金負債	―	―	3	10	75	65
負債の部合計	16,247	16,896	17,102	17,355	18,047	691
資本金	318	318	318	318	318	0
資本剰余金	231	231	231	231	231	0
利益剰余金	142	153	155	174	187	13
土地再評価差額金	52	53	52	51	55	4
その他有価証券評価差額金	13	51	160	153	288	135
純資産の部合計	753	799	909	921	1,075	154

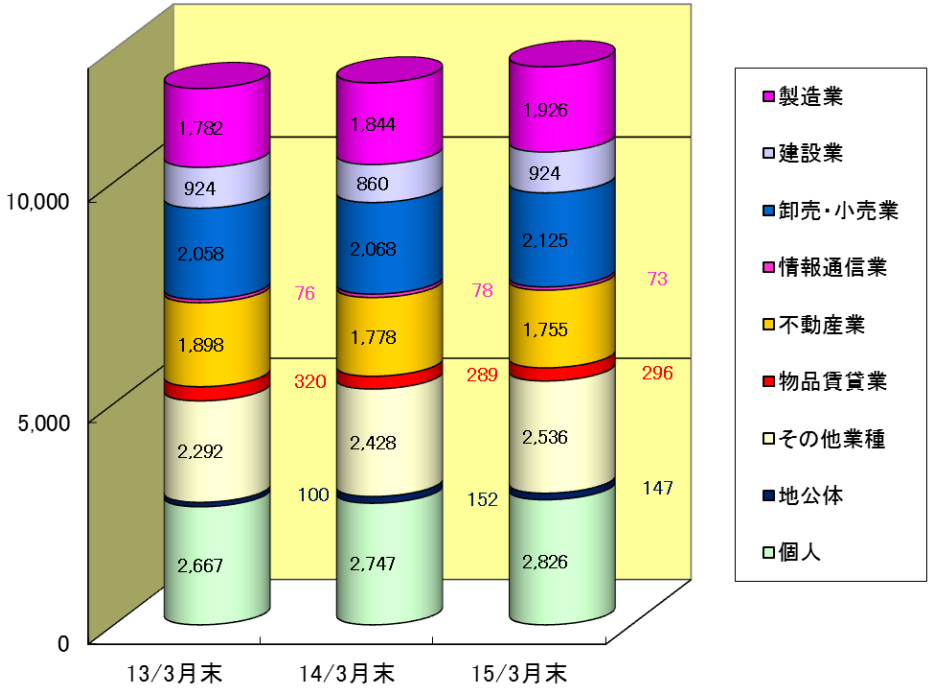
貸出金／預金の状況

中京銀行

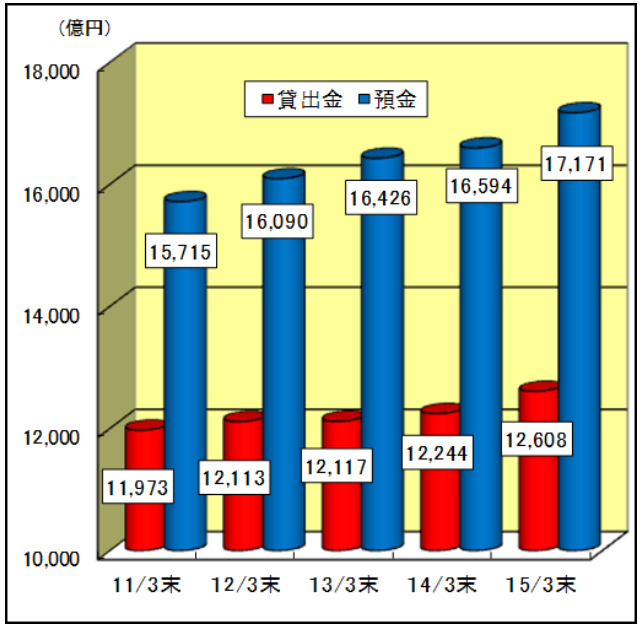
【貸出金・預金（末残）内訳】 （億円）

		13/3末	14/3末	15/3末	前年比
貸出金		12,117	12,244	12,608	363
	事業性	8,550	8,625	8,895	270
	個人ローン	3,567	3,619	3,712	93
預金		16,426	16,594	17,171	576
	法人	4,598	4,854	5,371	517
	個人	11,828	11,739	11,799	59

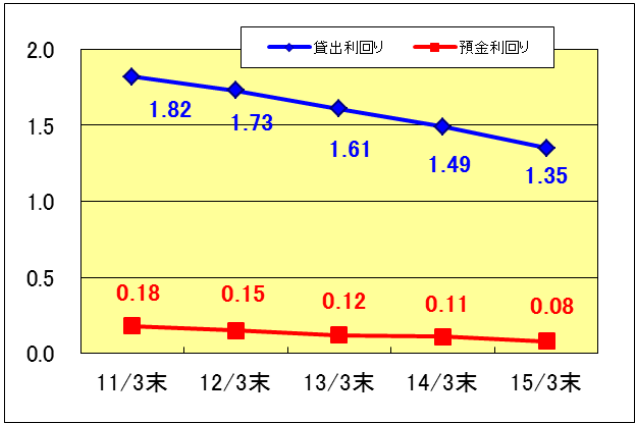
【業種別貸出残高（末残）】



【貸出金・預金残高推移（末残）】



【貸出・預金利回り推移】



有価証券の状況

中京銀行

【15／3末　有価証券の状況】

（億円）

	貸借対照表計上額（時価）	前年比	うち　償却原価	前年比	うち　評価損益	前年比
債券	3,492	▲ 200	3,417	▲ 202	74	1
国債	2,310	▲ 256	2,261	▲ 260	49	3
地方債	450	7	438	8	12	▲ 1
社債	730	48	718	50	12	▲ 1
株式	479	131	252	35	226	95
その他	1,692	452	1,583	361	109	90
外国証券	1,004	150	995	135	9	16
J-REIT	356	229	270	173	85	56
株式投信等	331	72	317	53	14	18
有価証券合計	5,664	383	5,254	194	410	188

	有価証券関係損益 減損	売却損益
債券	1.5	2.1
国債	0.0	2.1
地方債	0.0	0.0
社債	1.5	0.0
株式	0.0	1.5
その他	0.0	▲ 5.8
外国証券	0.0	3.1
J-REIT	0.0	0.1
株式投信等	0.0	▲ 9.0
有価証券合計	1.5	▲ 2.2

【償却原価の推移】

（億円）

	11/3末	12/3末	13/3末	14/3末	15/3末	前年比
債券	3,212	3,584	3,631	3,620	3,417	▲ 202
株式	218	198	211	217	252	35
その他	982	1,088	1,240	1,223	1,583	361
外国証券	732	767	927	861	995	135
J-REIT	52	67	73	97	270	173
投信等	198	253	240	265	317	53
有証合計	4,413	4,871	5,083	5,060	5,254	194

【評価損益の推移】

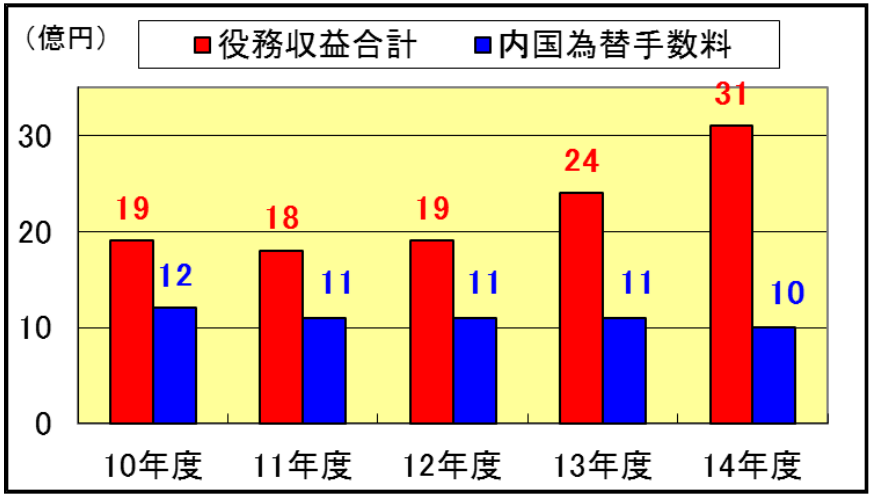
（億円）

	11/3末	12/3末	13/3末	14/3末	15/3末	前年比
債券	11	48	89	73	74	1
株式	33	47	104	131	226	95
その他	▲ 30	▲ 23	41	18	109	90
外国証券	▲ 14	▲ 9	2	▲ 7	9	16
J-REIT	▲ 0	0	47	30	85	56
投信等	▲ 15	▲ 14	▲ 8	▲ 5	14	18
有証合計	13	72	234	222	410	188

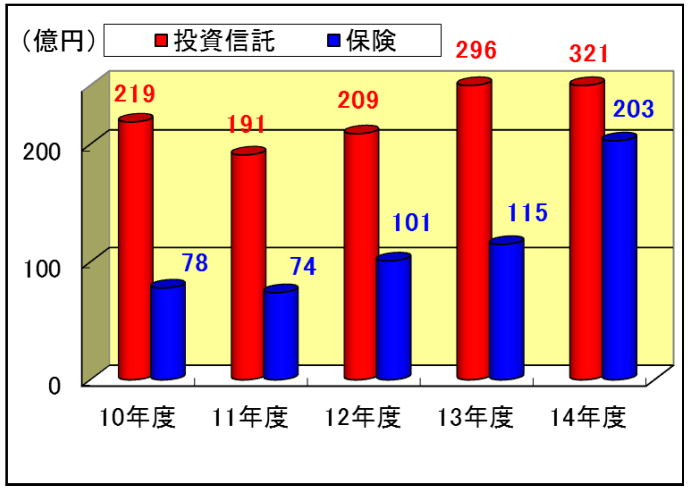
役務収益の状況

中京銀行

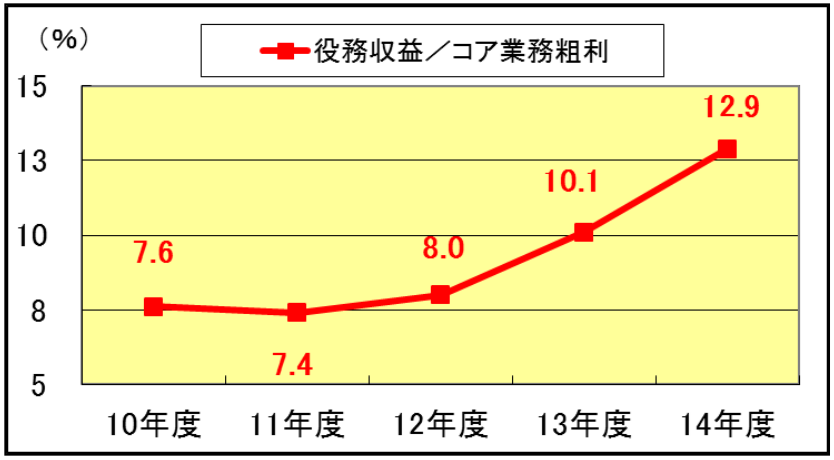
【役務収益の推移】



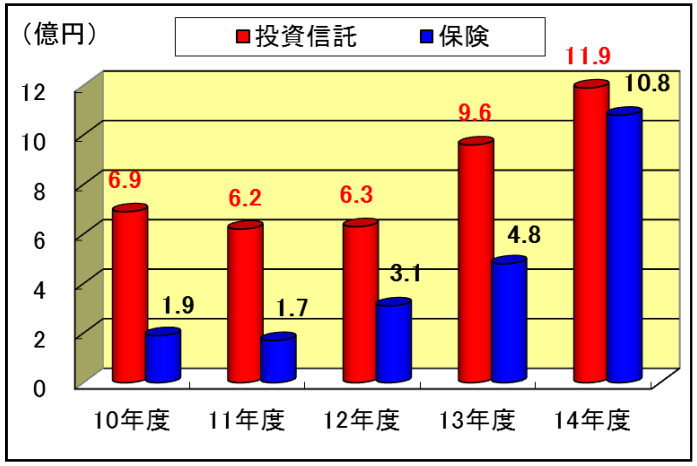
【投信・生保窓販　販売額推移】



【役務収益比率の推移】



【投信・生保窓販　手数料推移】



当地区における当行のシェア

中京銀行

【東海三県下の業態別預貸金残高、シェア】

（上段：残高、下段：シェア）　　（億円：%）

預金	10年3月	11年3月	12年3月	13年3月	14年3月	15年3月	前年比
都銀等	223,695 36.5	224,033 36.0	232,134 36.1	230,466 35.3	231,641 34.7	238,466 34.4	6,825 ▲ 0.23
地元地銀	130,444 21.3	134,252 21.6	138,865 21.6	143,358 22.0	147,942 22.1	153,273 22.1	5,331 ▲ 0.00
地元第二地銀	79,032 12.9	80,423 12.9	82,844 12.9	84,324 12.9	86,080 12.9	88,556 12.8	2,476 ▲ 0.09
うち中京銀行	14,577 2.4	15,078 2.4	15,445 2.4	15,645 2.4	16,003 2.4	16,494 2.4	491 ▲ 0.01
信用金庫	171,808 28.0	175,908 28.3	180,585 28.1	185,823 28.5	193,520 29.0	*202,923* 29.3	9,403 0.34
その他	7,875 1.3	7,228 1.2	8,187 1.3	8,626 1.3	8,859 1.3	9,051 1.3	192 ▲ 0.02
総合計	612,853	621,844	642,615	652,597	668,042	*692,269*	24,227

貸出金	10年3月	11年3月	12年3月	13年3月	14年3月	14年3月	前年比
都銀等	81,187 25.1	75,966 23.6	76,920 23.4	77,367 23.3	76,491 22.8	77,412 22.5	921 ▲ 0.25
地元地銀	86,094 26.6	87,373 27.2	89,633 27.2	89,920 27.1	91,939 27.4	95,360 27.8	3,421 0.37
地元第二地銀	52,470 16.2	53,364 16.6	54,035 16.4	54,351 16.4	54,024 16.1	54,803 16.0	779 ▲ 0.14
うち中京銀行	10,433 3.2	10,687 3.3	10,824 3.3	10,836 3.3	10,742 3.2	10,972 3.2	230 ▲ 0.01
信用金庫	91,860 28.4	92,484 28.7	94,575 28.7	95,633 28.8	97,509 29.0	*99,640* 29.0	2,131 ▲ 0.04
その他	12,097 3.7	12,598 3.9	14,006 4.3	14,709 4.4	15,751 4.7	16,336 4.8	585 0.06
総合計	323,708	321,785	329,169	331,980	335,714	*343,551*	7,837

（出展）日本銀行名古屋支店　※東海三県：愛知・岐阜・三重　地元地銀：大垣共立、十六、百五、三重　地元第二地銀：当行、名古屋、愛知、第三、信金は2月末の計数を使用。
岐阜銀行の計数は、10年3月に遡り、地元地銀（十六銀行）の計数に算入。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、 リスクや不確実性を内包するものです。
将来の業績は、経営環境の変化等により、異なる可能性があることにご留意下さい。

＜ご照会先＞
中京銀行　総合企画部　永井、瀬林
TEL　(052)249－1613
FAX　(052)252－5921
URL　http://www.chukyo-bank.co.jp/